

現代に潜む推し活依存

— 依存の実態と関連要因の検討 —

○志賀美乃里・吉儀瑠衣

(比治山大学 現代文化学部)

問題と目的

近年、推し活は心理的健康や自己肯定感を高める活動として注目され(原田ら, 2023), 幅広い年代に広がっている。一方で、過度な支出や生活リズムの乱れ, 推し活費用を得るための犯罪など, ネガティブな側面も指摘され始めている(警視庁, 2023)。高野・奥野(2023)は, 対人関係に悩みを抱える人ほど推しへの熱中が強まり, 依存的になる可能性を示唆しているが, こうした「推し活のネガティブな影響」に焦点を当てた研究はまだ十分に行われていない。

そこで本研究では, 橋元(2018)の行為・プロセス依存の概念をもとに, 「推しや推し活に心を奪われ, 実生活上に何らかの悪影響が生じているにもかかわらず, 身の丈に合わない(あるいは自制不能な)過度な推し活を行うこと」を「推し活依存」と定義し, 大学生における推し活依存の実態と関連要因を明らかにすることを目的とする。

方法

対象者 インターネット調査会社(アイブリッジ株式会社)の登録者のうち, スクリーニング調査および本調査への参加協力が得られた大学生 300 名に対しオンライン調査を実施した。回答のうち不備を除いた 277 名(男性 136 名, 女性 141 名), 平均年齢 20.42 歳($SD=1.65$)を分析対象とした。

調査内容 1) 推しに関する項目: 小城(2004)を参考に作成した 2 項目。2) 推し活依存尺度: 久里浜医療センターが翻訳した日本語版インターネット依存スクリーニングテストを基に作成した 8 項目, 2 件法。5 問以上「はい」と回答すると依存疑いがあると判定する。3) 推し活に使用している金額/時間に関する項目: 自由に使える金額/時間, 現実の使用

金額/時間, 理想の金額/時間の 3 項目。金額は自由記述, 時間は 6 件法より選択。4) 推し活による影響: ポジティブな影響とネガティブな影響各 14 項目の中から複数選択可。5) 日本語版 UCLA 孤独感尺度第 3 版短縮版(豊島・佐藤, 2021) 6 項目, 4 件法。**倫理的配慮** 本調査は比治山大学倫理審査委員会による承認を得て実施した(申請番号 2505)。

結果と考察

推し活依存の実態 推し活依存尺度($\alpha=.81$)の平均値は 3.26($SD=2.44$)であり, 性差は認められなかった($t(273.59)=.34, n.s.$)。また, 尺度得点が 5 点以上で「依存傾向の疑い」に該当する学生は 72 名(男性 35 名, 女性 37)で, 調査対象者の 26%であった。

推し活依存と孤独感の関連 推し活依存の有無で孤独感尺度得点($\alpha=.74$)に差がみられるか t 検定を行った結果($t(153.37)=2.07, p<.05$), 依存傾向群が依存なし群に比べて孤独感が有意に高かった。

推し活依存による生活への影響 推し活依存の有無によって使用する金額に差が認められるか t 検定を行った結果, 有意差は認められなかった。一方, 時間に関する χ^2 検定の結果(表 1), 使える時間に差がみられなかったのに対し, 実際の使用時間および理想の使用時間では依存傾向群が依存なし群に比べ有意に長かった。さらに, 推し活のネガティブな影響については, 半数以上が「あてはまるものはない」と回答し, 多くの大学生が推し活を肯定的に捉えていることが示された。

以上より, 大学生における推し活依存は時間的側面に表れやすく, 孤独感の高さと関連することが示された。一方で, 推し活は肯定的体験として機能していることから, より多面的に推し活依存の実態を調査する必要があると考えられる。

表1. 1日の中で自由に使える時間および推し活に使っている現実/理想の時間

		1時間未満 (%)	1-2時間 (%)	3-4時間 (%)	5-6時間 (%)	7-8時間 (%)	それ以上 (%)	χ^2	p 値
自由に使える時間	依存なし	11 (91.67)	23 (71.88)	70 (72.16)	55 (75.34)	25 (71.43)	21 (75.00)	2.40	
	依存の疑い	1 (8.33)	9 (28.13)	27 (27.84)	18 (24.66)	10 (28.57)	7 (25.00)		
実際の使用時間	依存なし	78 (87.64)	72 (73.47)	35 (61.40)	18 (75.00)	2 (40.00)	0 (.00)	27.7	***
	依存の疑い	11 (12.36)	26 (26.53)	22 (38.60)	6 (25.00)	3 (60.00)	4 (100.00)		
理想の使用時間	依存なし	61 (92.42)	69 (73.40)	55 (67.90)	14 (66.67)	4 (50.00)	2 (28.57)	23.7	***
	依存の疑い	5 (7.58)	25 (26.60)	26 (32.10)	7 (33.33)	4 (50.00)	5 (71.43)		

注) 黒塗りのセルは有意に多く, 点線セルは有意に少ないことを表す

*** $p<.001$